

## 令和6年度第1回芽室町男女共同参画審議会

令和6年8月26日(月)19:00~20:00

庁舎 2 階会議室 7

### 出席委員(8名)

嶋野会長、伊藤(宏)副会長、大塚委員、山崎委員、山口委員、中村委員、伊藤(洋)委員、野崎委員

### 欠席委員(2名)

珠玖委員、柴田委員

### 事務局

有澤政策推進課長、大石政策調整係長、天野

### ■1 開会及び挨拶

#### 事務局

定刻となりましたので、ただいまから、令和6年度第1回男女共同参画審議会を開会します。欠席のご連絡を柴田委員から、遅参のご連絡を山崎委員からいただいております。条例により議長は会長が務めることになっているため、ここからの進行は会長にお願いしたい。

#### 会長

皆様の貴重な時間を頂いているため、充実した会議になるようにしたい。本日は、仕事が早めに終わったため、審議会前に夕食を作ってからきた。また、パパ・スイッチ団体の代表として、北海道の委託事業でお父さん応援講座の講師を行っている。育児休暇取得率に関しても、近年で30%まで取得率が伸びている。世の中でも、育児参加の意識が高まっていると思う。男女平等の感覚の活動が広まっていくといい。

### ■2 議題

#### 会長

それでは、議題に入る。(1)「男女共同参画意識啓発の取組み内容について」ならびに(2)「男女共同参画に関する各課の取組実績について」事務局より説明をお願いします。

#### 事務局

資料に沿って説明。

#### 会長

今の説明に対し、質問・意見等はないか。

#### 委員

P10 の令和5年度取組実績における年次報告で、人権擁護委員の活動について記載があるが、町内の小中学校の児童生徒を対象に、28 件の人権教室を行っている。小学生には誰に対しても、優しさ・思いやりを持つこと、中学生には人権尊重をテーマに行っている。この場で詳細をご報告させていただく。

#### 委員

パネル展を中央公民館で開催した経緯と、開催結果について。

#### 事務局

開催場所を中央公民館とした経緯については、昨年度の審議会で「めむろ一どの 2 階は用事がないといかない場所のため、もっと人が来るような場所で開催したほうが良い」という意見を頂いたことから中央公民館での開催とした。開催結果については、教育推進課主催の教科書展示と同時開催にしたことと、町民活動支援センターの職員より、中央公民館にいらした方が、パネル展をご覧になっている様子があったと聞いたことから、昨年度よりも多くの方にご覧いただけたと感じている。

#### 委員

お父さん応援講座について、十勝管内の市町村では、帯広市と鹿追町より講演依頼があった。予算の関係上、あと 2 件依頼を受けることができるため、ぜひエントリーしてもらえたらと思う。自治体の依頼が多いが、空知信金や岩見沢の企業にも訪問したことがある。

#### 委員

どのくらいの参加者がくるのか。

#### 委員

一度、40人程度お越しただけたことがあるが、普段は10人～20人程度である。内容としては、1 時間ほど講演をした後、30分程度カードゲームでコミュニケーションをとっている。また、9 月 12 日には、めむろ町民活動支援センターでも内容を短縮して行う予定である。

#### 委員

めむろ町民活動支援センターで開催する際は、誰でも参加していいものか。

#### 委員

まだ未定な部分はあるが、今後情報発信をする予定である。

委員

お父さん限定なのか。

委員

お父さんのみでの参加にニーズがあるものだと思います。例えば、子どもが一緒だと、講座に集中できなかったり、お父さん一人の方が本音を聞けたりするためである。

委員

町内会連合会でも、どのように町内会を活性化させていくかという話し合いをしているが、お子さんの参加率が低く、中学生にもなると子ども会をやめてしまうことも多いため、1番大事な時期の子どもの成長を町内会としてどう支えていくのかが課題である。もしギャラリーの参加でも良ければ、参考にしたい。

会長

それでは次の議題に入る。続いて、(3)「まちづくりに関する住民意識調査の結果について」ならびに(4)「家事に対する意識アンケート調査結果について」事務局より説明をお願いする。

事務局

資料に沿って説明。

会長

今の説明に対し、質問・意見等はないか。なお、ごみ分別講座の開催についての意見は後ほど全員に意見を伺う。

委員

P19の住民意識調査の結果について、理由もわかると、委員としても改善策を考えていけると思う。

委員

P23 の問3-3の家事をしたくない・しない理由の選択肢について、「家事は女性がするものだから」とあるが、これを選択した人はいないということか。いないのであればよい。

委員

役場の役職者の女性登用率、以前はデータで出ていたが現状はどうなのか。

事務局

肌感覚ではあるが、上がっていていると思う。20~30年前は、女性職員が結婚のタイミン

グなどで辞めていくことが多かったが、今は共働きが多くなっており、その流れで管理職に登用されていくと思う。

委員

町内会で、女性の会長はいるのか。

委員

会長はいないが、役員を女性もするという動きは出ている。かつては、女性が会長をやっていたこともある。

委員

ファザーリング・ジャパンの安藤さんというお父さんの応援講座の講演をしている方が、朝、タオルで洗面台の鏡を拭いたりするちょっとした気遣いをしていたり、ごみの分別に関しても、お父さんは収集所に出すだけになってしまいがちなため、分別からしっかりと取り組まないといけないとお話しをされている。

会長

ごみの分別講座の開催について、確認したいがそれぞれどうか。

委員

アンケート結果から、参加したい方が半数以下という状況。やるとしたらどのくらいくるのか。自分の家庭でも息子と夫は、何回言っても分別できない。また、そういう人が講座に自ら行くのかということ。

委員

参加したらしたで、「行って良かった」となると思うが、せっかく開催するなら単独開催でなく、何かと抱き合わせで開催したらいいのではないかな。

委員

開催してほしい。商工会青年部でイベントを行うと、ごみの分別を適当にされる方がいるため。

委員

京都市から移住したが、芽室町の分別は、すごく細かくて正直大変である。移住者向けの説明会に合わせて、ごみの分別講座も行ったらいいいのではないかな。ごみの分別を面倒くさがる人は、講座自体も面倒くさいのではないかな。

#### 委員

講座の開催はあったほうが良いとは思いますが、この間、オロナミン C のキャップという普段出ないごみが出てきたときは、どう分別していいか困ったことがある。普段出ないごみの分別は、慣れていないためわからない。あったほうが良いとは思いますが、自分だったら参加するかはわからない。

#### 委員

本別町も17品目に分かれており、ごみ袋を土に還る袋にしているため、収集してもらえないと溶けてしまう。鹿追町も13品目と多い。講座の参加については、家庭内で、代表を決めて誰か1人が参加するというのも方法としてはいいかもしれない。もしあれば私は参加したい。分別されていないごみがあった場合は、町内会長が燃やさないごみで出していいか連絡を取り対応したりしている。ごみサークルも無料というところまでできたので、皆に完璧に広めたい。

#### 委員

移住者向けの開催はいいと思う。単独開催だと、足を運びにくいと、パパ・スイッチ事業の講座の時に開催したらいいのではないかと。分別のわからないごみは、LINE で入力したら出てくるなどの周知も行うといい。高齢者の方にも優しいシステムもあつたら便利である。窓口に電話すると確認できることの周知もすると町民の困りごとが減るのではないかと。

#### 委員

イベントと抱き合わせで開催する方がいいと思う。生活環境係の人が来て、講座をやっているのをみたことがあるが、皆、勉強して帰っているイメージである。

#### 委員

パネル展に合わせて開催することで、説明すると人が集まるのではないかと。

#### 会長

出た意見をまとめると、単独開催では集客しにくいと思うが、大事なことではあるため、イベントと抱き合わせで開催したらいいのではないかとということか。個人的には、転入者が多い春先は、関心が高まるタイミングではあるため、開催すると集まる人が多いのではないかと。

#### 委員

出前講座のようなものは、役場で行っているのか。

#### 事務局

日程調整をしてもらえれば生活環境係で行っている。

委員

パパ・スイッチ事業では、今年の秋口に料理教室を行う。そこと抱き合わせで行えたらいい気もする。

会長

それでは次の議題に入る。続いて、(5)「パートナーシップ制度について」、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料に沿って説明。

委員

これは、導入を前提とした話か。

事務局

導入する前の段階であり、事務局としてそういった声を聞いたことがないため、委員の皆様が周りの方からそういった声を聞いたことがあれば教えてほしいというところである。

委員

中学校の制服にズボンが導入されたが、芽室町ではまだされていないようである。芽室町はそういう取り組みは早いイメージがあったが、まだ取り組めていないのであれば始めたらいいのではないか。

委員

パートナーシップ制度の導入自治体が地域によって偏っていると思うが、どういった経緯で偏っているのか。

事務局

詳細はわからないが、旭川周辺の自治体が多いため、そこは合わせたと思われる。

委員

パートナーシップ制度を導入するきっかけとしては、どんなものがあったのか。

委員

実際に声があったというよりも、時代の流れによって、ということではないか。

事務局

幕別町でも、導入の準備を進めていると聞いている。

委員

声を聞かないためやらないのではなく、利用したい人が芽室町に来た時に対応できるようにしておくのがいいのではないか。

委員

資料のデメリットとして記載のあることは、導入することでのデメリットではないと思う。安心して暮らしていける環境づくりのためにも導入したらいいのでは。

委員

制度の導入は大変なのか。

事務局

民間企業との合意形成が必要になってくる。関係者に集まっていただき理解してもらうのが丁寧な進め方。否定される企業はないと思うが、勝手に進めていいとはならない。

委員

申請に審査みたいなものはあるのか。

事務局

宣誓制度という形のため、まちが認めるという感じであり、詳細な審査は出てこない。

会長

こういうこと考えると、この審議会の男女共同参画という名称自体が違っている気もしてくる。ほかに意見はないか。事務局から他に聞きたいことなどはないか。

事務局

帯広市の制度導入に関してのお話しなど、もしあれば情報提供して頂けたら。

委員

友人がレスビアン。今どうしているかわからないが、幸せそうにしている。帯広市に住んでいると思う。友人の他にもそういった人はいると思う。

### ■3 その他

会長

以上で、全ての議題が終了した。次に、議案 3 その他 について、事務局より願います。

事務局

第2回目の審議会の日程は未定のため、確定次第開催前にご連絡する。なお、今回の委員報酬は9月10日(火)に入金予定である。以上。

会長

以上をもって、本日の審議会は終了となる。お疲れ様でした。

(20:00 終了)